

■パブリックコメントについて

■大崎市休日部活動地域移行推進計画（中間案）に対するパブリックコメントの意見一覧

□パブリックコメントの実施期間

令和6年3月1日（金）から令和6年3月21日（木）

□意見の提出状況

提出者 2人，提案件数 7件

No.	意見の概要	意見等に対する本市の考え方
1	<p>3 指導者の確保・育成(P.12)</p> <p>「(1)指導者の養成や資質向上の取組を進める。」とあるが、具体的にどんな養成や取組をおこなうのか。また、費用はかかるのか。かかるとすれば、その予算は何で捻出するのか。</p> <p>「(2)県指導者バンクと連携し登録基準など体制整備に努める」とあるが、単なる努力目標であって、具体的な見込みはあるのか。</p>	<p>(1)指導者には、それぞれの種目に応じた技術などの専門的な知識が必要ですが、その専門知識を子供たちに教える・伝えるスキルが重要であると考えられます。</p> <p>スキルの高い指導者の育成に向け、補助事業なども活用し様々なテーマでの研修会や、講習会を開催していきたいと考えています。</p> <p>(2)活動内容や競技種目ごとに指導者として必要な資格が異なること、また、中体連や競技団体で運営される大会によっても、指導者資格が異なるため、移行期間において登録基準などを整理していきます。</p>
2	<p>5 大会参加の在り方(P.13)</p> <p>「(3)大会成績など、高校入試に係る個人の評価」については、全て認められるものとは限らないが、具体的にどんな基準を設けるのか。また、地域移行というものの、大会運営等の負担についてはどのように解消するのか</p>	<p>地域クラブの活動を、高校入試に係る調査書等への大会成績記録の記載については、何よりも学校との情報共有が重要です。その上で、学校部活動内の活動と同等と捉えて記載していくよう、学校と共通理解を図りながら進めて参ります。</p> <p>また、この計画で推進する取組みは、休日における練習・体験の場、および指導者の確保を目標に推進していくこととしており、大会運営への協力の可否については大会を運営する各団体の判断となります。</p>

No.	意見の概要	意見等に対する本市の考え方
3	<p>その他 学校によっては、部に所属はしているが活動しない生徒や、運動部に所属しない生徒も多いのが現状である。「部活動」の形(在り方や運営方法)を変えていく一歩目としての地域移行に異論はないが、教員の過重労働や活動する生徒の偏り等を踏まえ、学校教育活動内の「部活動」そのものの在り方を文科省に考えて欲しい。</p>	<p>ご意見として承ります。 尚、休日の地域クラブ活動と平日の部活動を併走しながら推進するにあたり、様々な課題が考えられますので、課題を解決しより良い活動ができる環境づくりに向け、県教育委員会と連携していきたいと考えます。</p>
4	<p>1計画策定の趣旨 大会前の土日には、練習試合等が入り、教員も引率、監督することになり、勤務時間のけいげんには、ならない。特に、熱心な部活は。</p>	<p>本計画では、ガイドラインで示される土日いずれかの3時間程度の活動機会を確保することを目的としています。大会など3時間を超える活動については大会主催者などの意向を注視しながら検討していきますが、基本的な考えとして、教員が引率しない活動を推進するものです。</p>
5	<p>2現状と課題 実際の指導者数は、もっと少ないと思います。民間は、土曜日は、出勤が多いと思います。</p>	<p>地域人材の指導者が関われる曜日や時間帯などの条件は様々だと認識しています。 県の指導者人材バンクも活用しながら、指導者と団体のマッチングに努めていきたいと考えています。</p>
6	<p>3指導者の確保 公務員関係の方への啓蒙、また、運動経験のある小学校教員への啓発、企業等への働きかけで、増やす努力をしたら良いと思います。</p>	<p>指導者確保に向け地方公務員については、兼職兼業を踏まえながら各関係団体に周知していきたいと考えています。</p>
7	<p>4.休日の地域クラブの参加しなければならない状況になった時は、当面の間、行政の負担がよいと思います。</p>	<p>令和6年度から2か年については、国の支援も活用しつつ、受益者負担を見据えながら検証を重ねていきたいと考えます。</p>